

小学校歌 伸びやかな響き



校歌の録音に臨むびわ湖ホール声楽アンサンブルのメンバーら＝大津市打出浜のびわ湖ホールで

びわ湖ホール 声楽家の収録始まる

大津市打出浜の県立びわ湖ホールで二十三日、県内の小学校を対象に募集した、各校の校歌を同ホールの声楽家たちが歌う企画の、収録が始まった。新型コロナウイルスの影響で大ホールを使うのは三月上旬以来といい、無観客ながらも久しぶりに、ホールに伸びやかな歌声が響き渡った。

企画は、児童向けの公演が相次いで中止になったびわ湖ホールが、児童らに音楽に触れる機会を提供しようと考案。二十二日時点で、県内の全小学校の半数以上となる百二十五校から

申し込みがある。

収録に臨んだのは、ホール専属の声楽家集団「びわ湖ホール声楽アンサンブル」ら十六人。感染防止対策として、ピアノをステージの中央に配し、各メンバーが周囲を囲むように二層ほど距離を空けて歌った。愛知川小から始まり、水戸小や田根小、永原小など十校の校歌を録音した。

テノール担当の谷口耕平さん（三）は「お客さんはいないが、広い空間で歌うのは気持ちいい。こんな時代なので、歌うのが楽しいと思ってくれたら。皆さんの手本になるように歌いま

す」と話した。

この日は、校歌と一緒に付けて送る「琵琶湖周航の歌」と「江州音頭」も録音した。企画の募集は三十日まで。
(堀尾法道)